

相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和7年7月～9月)

全体的には昨年度から大きな動きはみられないが、業種による差が出てきている。製造業はトランプ関税の影響を受け前期から厳しい状況が続いており、小売業も物価高の影響などが長引いている。建設業はしばらく足踏み状態が続くとみられ、飲食業・サービス業は改善が続いている。



ポイント

- ▶ 令和7年7月～9月期の総合業況DIは▲22と、前期▲23からほとんど動きがなかった。改善が続いていた建設業（前期▲12・今期▲12）は一旦停滞している。飲食業・サービス業（前期▲22・今期▲15）も改善が続く。製造業（前期▲31・今期▲33）は低い水準が続いている。小売業・卸売業（前期▲22・今期▲35）は悪化した。
- ▶ コメントによると、業種を問わずコスト高と人手不足を訴える声が多いほか、トランプ関税の影響を懸念する声も増えている。消費者の消費マインドの冷え込みも続いているようである。業種によっては猛暑の影響が出ている事業者もある。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲14と、今期▲22から8ポイントの改善の見込み。飲食業・サービス業（今期▲15・次期▲9）は引き続き改善が進み「薄曇り」に変わる見込み。建設業（今期▲12・次期▲11）は引き続き足踏みが続く。今期落ち込んだ小売業・卸売業（今期▲35・次期▲21）は前期並みまで戻ると思われる。厳しい状況が続いている製造業（今期▲33・次期▲22）は、トランプ関税前の水準に徐々に戻ると見込まれている。



各業界から寄せられたコメント

電子回路設計／製造／販売

一番多く売り上げる製品が客先を通して米国に出荷されるため、関税に関連して生産計画がどうなるかが心配。

建具工事業

補助金関係で受注しやすくなっている。

家電、住宅設備機器、工事

従業員の給与を上げても、税で引かれる部分が多いのと、物価高についていけない。販売価格を上げざるをえなくなり、お客様の買い控えを感じる。

理容業

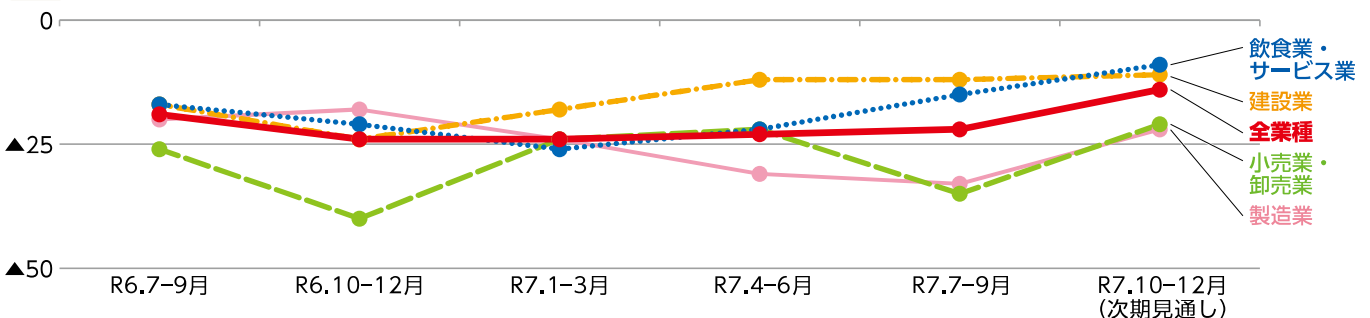
暑すぎて日中人が出ていない。

立体自動倉庫を中心としたマテリアルハンドリングシステムなど周辺機器を含むメンテナンス、部品交換、改造工事

忙しい、人手が足りない状況がしばらくは続く予想される。



業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R6.7-9)	前々々期概況 (R6.10-12)	前々期概況 (R7.1-3)	前期概況 (R7.4-6)	今期概況 (R7.7-9)	次期見通し (R7.10-12)
製 造 業	▲ 20	▲ 18	▲ 24	▲ 31	▲ 33	▲ 22
建 設 業	▲ 17	▲ 24	▲ 18	▲ 12	▲ 12	▲ 11
小 売 業 卸 売 業	▲ 26	▲ 40	▲ 24	▲ 22	▲ 35	▲ 21
飲 食 業 サ ー ビ ス 業	▲ 17	▲ 21	▲ 26	▲ 22	▲ 15	▲ 9
全 業 種 (総 合)	▲ 19	▲ 24	▲ 24	▲ 23	▲ 22	▲ 14

業況天気図 凡 例	快 晴 DI値 31以上	晴 れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小 雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以上
--------------	-----------------	------------------	-------------------	--------------------	----------------

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和7年7月1日～9月30日

回答率：19.6%

回答者数：723件

調査対象：当所会員事業所3,686事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しています。

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>

データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

